

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	水／Wed 2
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修, 選択／required, elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード／Time schedule code	20250575009001	科目番号／Course code	05750090
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEEX 11311_032		
授業科目名／Course title	●日本事情／Japanese Studies		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	中村 桂子／Nakamura Keiko		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	中村 桂子／Nakamura Keiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	中村 桂子／Nakamura Keiko		
科目分類／Course Category	留学生用科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	講義／Lecture
教室／Class room	教養教育C棟26／RoomC-26		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nenecha_n▲yahoo.co.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078（教養教育事務室）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日午前、またはe-mailで質問を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本の文化を自国と比較して発表する。 現代日本のテーマについて調べてきたことをまとめ、発表する。 グループで協力して日本語を使って表現する。		
授業到達目標/Course goals	ディスカッションを通して日本・長崎の文化と歴史、社会について学ぶ。グループでの活動を通して日本語の運用力を高め、協調性と柔軟性を身につける。長崎や日本だけでなく、他のところから来ている留学生の国や地域のことを理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション・レポート課題（50点）＋授業への取り組み（50点）＝合計100点のうち60点以上を合格とする。 課題は、提出期限を厳守すること。 課題は提出するだけでなく、その内容によって加点・減点する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	課題として与えられたテーマについて調べ、まとめること。（2h） 他者が発表した内容について自分の意見をまとめ、提出期限までに提出すること。（2h）		
キーワード/Keywords	日本文化・まつり・ニュース・新聞・投稿		
教科書・教材・参考書/Materials	新聞のほか、適宜プリントを配布します。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	課題・レポートはインターネットを活用して作成し、メールで提出する。 この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACS でお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション・自己紹介・長崎弁
第2回	日本の「まつり」
第3回	ながさきくんち祭を見に行こう
第4回	ふるさとの「まつり」について発表しよう
第5回	ふるさとの「まつり」について発表しよう②
第6回	新聞を用いた活動（日本の新聞記事を読む①）
第7回	新聞を用いた活動（日本の新聞記事を読む②）
第8回	新聞を用いた活動（日本の新聞記事を発表する①）
第9回	新聞を用いた活動（日本の新聞記事を発表する②）
第10回	新聞を用いた活動（日本の新聞記事を発表する③）
第11回	日本の「正月」
第12回	新聞を用いた活動（日本の新聞投稿欄を読んでみる①）
第13回	新聞を用いた活動（日本の新聞に投稿文を書いてみる①）
第14回	新聞を用いた活動（日本の新聞に投稿文を書いてみる②）
第15回	授業全体のまとめ

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	水／Wed 1, 水／Wed 2
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード／Time schedule code	20250589000501	科目番号／Course code	05890005
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEEX 11111_032		
授業科目名／Course title	●日本語上級 I／Advanced Japanese I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	松本 久美子／Matsumoto Kumiko		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	松本 久美子／Matsumoto Kumiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	松本 久美子／Matsumoto Kumiko		
科目分類／Course Category	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟25／RoomC-25		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ysfnp075▲yahoo.co.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業後（メールで予約すること）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本の大学で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力（特に読解能力）を習得する。また、各回の読解文のテーマに関するグループディスカッションを行う。		
授業到達目標/Course goals	1. 現代日本社会について書かれた様々な文章を読み、日本の社会・文化について理解を深める。 2. 上級レベルの文法や語彙・表現を習得し、文章を正確に理解する能力を獲得する。 3. 読解文の内容について他者の意見を聞きながら自分の意見が述べられるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加の積極性30%、テスト70%		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：教科書の本文を読み、語彙の確認を行っておくこと。2h 事後学習：本文の内容を確認し、語彙・表現・文法項目の復習をすること。1課終了ごとに宿題を課す。2h		
キーワード/Keywords	上級レベル、読解能力、読解テーマに関するディスカッション（自分の意見を述べる）		
教科書・教材・参考書/Materials	『学ぼう！日本語中上級（日本語能力試験N1対応）』専門教育出版		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	日本語能力試験2級合格相当、または日本留学試験（日本語科目）200点相当の日本語能力を有する留学生		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	基本的に授業は対面で実施する。		

学生へのメッセージ/Message for students	1校時目と2校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回 4/9	オリエンテーション（対面）・他者紹介
第2回 4/16	第1課：清潔好きの日本人・ディスカッション（対面）
第3回 4/23	第2課：少子高齢化の現状と対策 ・ ディスカッション（対面）
第4回 5/7	第3課：お互いのコミュニケーションのために ・ ディスカッション（対面）
第5回 5/14	第4課：古来の知恵か風習か ・ ディスカッション（対面）
第6回 5/21	第5課：日米の大学生はどこが違う ・ ディスカッション（対面）
第7回 5/28	復習（1課～5課） ・ テスト①（対面）
第8回 6/4	第6課：社会保障という備え ・ ディスカッション（対面）
第9回 6/11	第7課：少年犯罪における匿名報道の是非 ・ ディスカッション（対面）
第10回 6/18	第8課：日本的な経営慣行と新時代の到来 ・ ディスカッション（対面）
第11回 6/25	第9課：働く人のボランティア活動 ・ ディスカッション（対面）
第12回 7/2	第10課：都市から地方へ、人は移り住む ・ ディスカッション（対面）
第13回 7/9	11課：生産に必要な水とエネルギー ・ ディスカッション（対面）
第14回 7/16	第12課『江戸しぐさ』と現代人のモラル ・ ディスカッション（対面）
第15回 7/23	復習（6課～11課） ・ テスト②（対面）

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	水／Wed 1, 水／Wed 2
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード／Time schedule code	20250589000801	科目番号／Course code	05890008
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEEX 21211_032		
授業科目名／Course title	●日本語上級Ⅱa／Advanced JapaneseⅡ a		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	日暮 康晴／HIGURE YASUHARU		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	日暮 康晴／HIGURE YASUHARU		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	日暮 康晴／HIGURE YASUHARU		
科目分類／Course Category	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟26／RoomC-26		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	正規学部留学生、非正規学部留学生（学部交換留学生）		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	higure.yasuharu☆nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は☆を@に変更してください）		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟2階（東奥の南側）		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメール（随時；対面希望の場合もまずはメールでご連絡ください）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	情報を集めること、情報を精査すること、そして自分の考えを発表すること。そうした、一連の知的作業を日本語で行う練習をします。		
授業到達目標/Course goals	・日本語を使って、信頼のできる情報源から情報を集めることができる ・日本語で書かれた文章を読んで、具体的な内容を理解することができる ・発表形態や内容に応じた適切な表現を用いながら、自分の考えを日本語で効果的に伝えることができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☐ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	以下、合計100点のうち60点以上を合格とする。 （１）課題 [30点] （２）発表 [50点] （３）授業への参加度 [20点]		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前】 教科書の次回授業範囲を読んで、わからない言葉について調べておく。また、教員から別途課題の指示があった場合はそれを行う。（2時間） 【事後】 授業内容の振り返りを行う。教員から別途課題の指示があった場合は、それを行う。（2時間）		
キーワード/Keywords	教養、貧困、支援、協働、平和		
教科書・教材・参考書/Materials	奥野由紀子（編著）小林明子、佐藤礼子、元田静、渡部倫子（著） 『日本語×世界の課題を学ぶ 日本語でPEACE [Poverty中上級]』 凡人社、2021年 ISBN: 9784893589903		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	・ プレースメントテストで受講を認められた正規学部留学生 ・ プレースメントテストで受講を認められた非正規学部留学生（交換留学生） ・ 初回のオリエンテーションに参加すること ・ 水曜日の1校時目と2校時目の両方に出席すること
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考/Remarks	第1回のオリエンテーションを含め、全授業（第1回～第15回）を対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	みなさんは、何のために日本語を勉強していますか？
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回（4月9日）	オリエンテーション：教養とは？
第2回（4月16日）	ユニット1
第3回（4月23日）	ユニット1
第4回（5月7日）	ユニット2
第5回（5月14日）	ユニット3
第6回（5月21日）	ユニット3
第7回（5月28日）	ユニット4
第8回（6月4日）	ユニット5
第9回（6月11日）	ユニット5
第10回（6月18日）	ユニット5
第11回（6月25日）	ユニット5
第12回（7月2日）	ユニット6
第13回（7月9日）	ユニット7・8
第14回（7月16日）	ユニット9
第15回（7月23日）	ユニット10・授業のまとめ

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 3, 木／Thu 4
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード／Time schedule code	20250589000802	科目番号／Course code	05890008
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEEX 21211_032		
授業科目名／Course title	●日本語上級Ⅱa／Advanced JapaneseⅡ a		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	中村 桂子／Nakamura Keiko		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	中村 桂子／Nakamura Keiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	中村 桂子／Nakamura Keiko		
科目分類／Course Category	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟25／RoomC-25		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nenecha_n▲yahoo.co.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078（教養教育事務室）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日午後、またはEメールにより質問を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本の大学・社会で学ぶために必要なあらゆる場面の日本語表現を課題を通して学んでいく。		
授業到達目標/Course goals	・メモの取り方やレポートの書き方など、大学・社会生活に必要な日本語表現能力を身につけることができる。 ・これまで日本語の授業で学んだ敬語を実際に使いこなせるようになる。 ・これまで学んだ日本語を実際の大学・社会生活で活用できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題（50％：提出期限以内に提出したら1点、提出期限に遅れたら 1/2 点） 授業への取り組み（30％：出席が 2/3 以下の場合は成績が出ません。遅刻3回で欠席1回と考えます。） 発表等（20％）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回、授業予定に基づき、テキストを読んでおくこと。（1h） 課題や授業内で使用したトレーニングシートに取り組み、提出期限までにしなければならない。（3h）		
キーワード/Keywords	上級レベル、書き方、基本、適切		
教科書・教材・参考書/Materials	橋本修／安部朋世／福嶋健伸[編著]『大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編』三省堂		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業予定を参考にして、テキストの予定範囲を読み、理解しておくこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	1校時目と2校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション・第1章
第2回	第2章・第3章
第3回	第3章・第4章
第4回	第5章・第6章
第5回	第7章・第8章
第6回	第9章・第10章
第7回	第10章
第8回	第11章・第12章
第9回	第12章・第13章
第10回	第13章・第14章
第11回	第14章・第15章
第12回	第15章・第16章
第13回	第16章・第17章
第14回	第17章・第18章
第15回	第18章・第19章

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	水／Wed 3, 水／Wed 4
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード／Time schedule code	20250589001101	科目番号／Course code	05890011
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEEX 21221_032		
授業科目名／Course title	●日本語上級Ⅱb／Advanced JapaneseⅡ b		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	松本 久美子／Matsumoto Kumiko		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	松本 久美子／Matsumoto Kumiko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	松本 久美子／Matsumoto Kumiko		
科目分類／Course Category	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟25／RoomC-25		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ysfnp075▲yahoo.co.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業後（メールで予約すること）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本の大学で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力を習得する。 1.現代日本社会について書かれた教科書の読解文を読んで内容を把握する。 2.読解文の背景にある日本社会の様々な側面について理解を深める。 3.読解文に関連する新聞記事等をその場で読み、内容のまとめとその内容についてのディスカッションを行う。（グループワーク） 4.教科書の中の読解文（授業で使用していないもの）から興味あるテーマを選び、その内容について自分の意見をまとめPPTを作成し、発表する（2回）。また、その内容について意見交換を行う。（グループワークを予定。受講者人数によって変更有） 5.自分が興味を持った新聞記事を選び、その内容について発表する。発表後、その内容について質疑応答を行う。		
授業到達目標/Course goals	上級レベルの様々なテーマの文章を多読し読解能力を高めるとともに、日本社会の様々な側面について理解を深める。また、学習したテーマについて他者の意見を聞きながら自分の意見を的確に述べられるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への貢献度30%、課題40%、発表30%		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前に教科書本文を読み内容についてチェックし、疑問点を明確にしておくこと。1.5h 授業準備：2h 発表2回：1回2h 最終プレゼンテーションの回について：調査とPPT作成等 4h		
キーワード/Keywords	上級レベル、読解能力、ディスカッション能力		

教科書・教材・参考書/Materials	『留学生のための時代を読み解く上級日本語 第3版』 スリーエーネットワーク ハンドアウト（新聞記事等を使用）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	日本語能力試験1級合格相当の日本語能力を有する留学生
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業を予定 受講者数によって、内容に多少の変更有
学生へのメッセージ/Message for students	3校時目と4校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。 履修登録者数によって、内容を一部変更することがある。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回 10/1	オリエンテーション等（対面）
第2回 10/8	I. 生活 : 2.輝く女性とは何なのかー「女性活躍」の現場 / 応用読解・グループワーク（対面）
第3回 10/15	I. 生活 : 4.社内結婚、」企業が後押し / 応用読解・グループワーク（対面）
第4回 10/22	II. 少子高齢社会: 6.なぜ少子化が問題なのか / 応用読解・グループワーク（対面）
第5回 10/29	II. 少子高齢社会: 7.買い物弱者 / 応用読解・グループワーク（対面）
第6回 11/5	III. 教育: 11.学歴とは別のものさしで / 応用読解・グループワーク（対面）
第7回 11/12	発表①（対面）
第8回 11/26	IV. 企業と労働: 14.日本型雇用システム（1） / 応用読解・グループワーク（対面）
第9回 12/3	IV. 企業と労働: 15.日本型雇用システム（2） / 応用読解・グループワーク（対面）
第10回 12/10	IV. 企業と労働: 17.どうする？長時間労働 / 応用読解・グループワーク（対面）
第11回 12/17	V. 科学技術と人間: 21..AIは人間の仕事を奪ってしまうのか / 応用読解・グループワーク（対面）
第12回 1/7	V. 科学技術と人間: 22.ビッグデータ社会/ 応用読解・グループワーク（対面）
第13回 1/14	発表②（対面）
第14回 1/21	課題②（レポート）のシェアとその内容についての意見交換（対面） プレゼンテーションの準備: 各ペアで準備（受講者数によってグループ発表か個人発表かを決定）（対面）
第15回 1/28	プレゼンテーション（受講者数によってグループ発表か個人発表かを決定）（対面）

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 3, 木／Thu 4
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード／Time schedule code	20250589001102	科目番号／Course code	05890011
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEEX 21221_032		
授業科目名／Course title	●日本語上級Ⅱb／Advanced JapaneseⅡ b		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	溝部 エリ子／Mizobe Eriko		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	溝部 エリ子／Mizobe Eriko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	溝部 エリ子／Mizobe Eriko		
科目分類／Course Category	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育C棟26／RoomC-26		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	留学生対象		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	erico27▲nifty.com（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078（教養教育事務室）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて、随時質問等、受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	抽象度の高い素材から獲得した情報を基に、日本語の知識を活用し、課題遂行のための日本語能力の構築を図る。客観的視点から、主張を表現できる包括的コミュニケーション能力の育成を目指す。		
授業到達目標/Course goals	文脈から手がかりを発見し、主張や意図を推測することができるようになる。 場面や聞き手に応じて、内容や話し方を調整することができるようになる。 共同作業の中で、実質的に必要な情報を交換することができるようになる。 社会的な関係を維持するための雑談、相談、意見交換などができるようになる。 自分の関心事で、馴染みのある事柄を直線的に並べ、伝達する方略を考えることができるようになる。 自分の発話をモニターし、誤りを修正したり、言い直したりすることができるようになる。 自分の専門や興味のあることに関して、事前に用意されたプレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	以下の5つで総合的に評価する。 1. 授業への取り組み・発言など（20%） 2. 課題確認小テスト（5%×3＝15%） 3. レポート課題（5%×3回＝15%） 4. 中間プレゼンテーション（20%） 5. 最終プレゼンテーション（30%）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：授業で扱うテーマを事前に提示するので、それについてWEBや文献などで周辺知識を深めておく。次回、授業に関連する語彙など内容理解・定着が図れるよう確認しておく(2h) 事後学習：各回、授業中、授業後に配布したハンドアウトを確認し、必ず復習すること。事後学習により明確でない部分は翌週の授業で積極的に質問すること。(2h)		

キーワード/Keywords	ピアラーニング・エンゲージメント・プロフィシェンシー・アウトリーチ・Problem Solvers
教科書・教材・参考書/Materials	毎回ハンドアウトを配布する。また、随時、参考文献は授業中に紹介する。 『課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション』（近藤彩他）ココ出版 『大学で学ぶためのアカデミック・ジャパニーズ』（佐々木瑞枝他）The Japan Times ほかに使用
受講要件（履修条件）/Prerequisites	・プレイスメントテストで受講を認められた正規学部留学生 ・プレイスメントテストで受講を認められた非正規学部留学生（交換留学生） ・木曜日の3校時目と4校時目の両方に出席すること
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施します。状況によって変更する場合がありますので、変更がある場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	日常生活の中で、相手に配慮した表現を用い、円滑なコミュニケーションを行うことは、人間関係を構築していく上でとても重要なことです。さらに、専門分野の学習に関してその理解を深めていく上で、グローバルな視点から情報を取捨選択、獲得していくことも今の世の中では欠かせません。様々な視点から、課題をメタに捉え、簡潔にロジックな意見が言えたり、正確に書けたりするよう、この授業の中で一緒に学んでいきましょう。内容に関しては受講する人の能力に併せ、若干、変更する場合があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	オリエンテーション・自己紹介1（レポート1） Can-doレポート・ルーブリックの作成
第2回	Can-doレポート・ルーブリックの確認 自己紹介2・ケーススタディ1・ディスカッション
第3回	ケーススタディ2・ディスカッション
第4回	ケーススタディ3・ディスカッション
第5回	ケーススタディ4・ディスカッション
第6回	ケーススタディ1～4の振り返り・ディスカッション
第7回	中間プレゼンテーション・ピアレビュー1
第8回	ケーススタディ5・ディスカッション
第9回	ケーススタディ6・ディスカッション
第10回	ケーススタディ7・ディスカッション
第11回	ケーススタディ8・ディスカッション
第12回	ケーススタディ5～8の振り返り・ディスカッション
第13回	プレゼンテーションの準備・ピアレビュー2
第14回	最終プレゼンテーション
第15回	プレゼンテーションの振り返り・ルーブリックの自己評価 総まとめ